

～人権が尊重されるまちをつくろう～
～身近な生活の中から学ぼう～

2019.10.21
第69号

人権・同和教育だより 丹波篠山

発行
丹波篠山市
人権・同和教育研究協議会
TEL・FAX 079-593-1260
<http://www.pure.ne.jp/~jinzen/index.html>
〒669-2734 丹波篠山市宮田240
丹波篠山市役所 西紀支所3F
年3回発行 6・10・2月

2019年12月7日土 人権フェスタinささやま 11:50~16:15

会場：四季の森生涯学習センターとその周辺施設

展示・バザー・販売等（各種団体）10:30~

開会行事・人権作文受賞者表彰及び作文発表等 11:50~



第21回 丹波篠山市人権・同和教育研究大会

主催：丹波篠山市人権・同和教育研究協議会、丹波篠山市、丹波篠山市教育委員会

・ テーマ：一人一人の人権が尊重される心豊かな地域づくり

・ 基調講演 13:10~14:40

「人権・同和問題の解決をめざして」
～好感・共感・親近感が人権力を育む～

講師 明石 一朗さん

（関西外国語大学教授・人権教育思想研究所長）

・ 分科会 15:00~16:15

特別分科会

部落差別を正しく認識し、解消に向け取り組もう

講師 細田 勉さん

（部落解放同盟兵庫県連合会副委員長・関西学院大学非常勤講師）

第1分科会

高齢者が安心して暮らせる地域づくり

講師 山崎 義博さん（西紀北地区草山郷づくり協議会会長）

第2分科会

男女共同参画に敏感な視点をもってみませんか

講師 勝木 洋子さん（神戸親和女子大学教授）

第3分科会

障がいのある人と共に暮らせる地域をめざして

講師 高見 郁雄さん 他4名（身体障害者福祉協議会）

第4分科会

いじめ・差別を許さない子どもを育てるには

講師 幸田 英二さん（人権ワークショップ研究会代表）

みんなの 人権を考える 映画会

ドキュメンタリー映画「こんばんは」



8月11日（日・祝）にみんなの人権を考える映画会を開催しました。

この映画は、20年前に東京都墨田区の夜間中学校で撮影されました。町工場の社長さんや在日コリアンのハラボジ（おじいさん）、中国からの残留孤児、南米からの日系人、いじめや引きこもりで学校へ通えなくなった若者たちが主人公です。

映画を観られた方は、「人間の温かみを感じた。」「苦境の中でも懸命に生きる姿に感動した。」と感想を述べられていました。

20年経った今でも、学校に行けずに学びを奪われた人たちがいます。この丹波地域もおられると思われます。学びを奪われることは大きな人権侵害です。「共に学び続け合える」ことができる社会を目指したいものです。

丹波篠山市同教フィールドワーク

8月25日（日）、市東部の大芋地区（珪石鉱山慰靈碑）福住地区（万屋半左衛門供養塔、本明谷マンガン鉱山、柿木地蔵）城東地区（藤木幸助記念碑、曾地河原刑場、中立舎）を巡りました。参加者は関係者を含めて24人でした。参加された方々の感想を紹介します。

- ◆フィールドワークに参加させていただき、新たな発見がたくさんありました。講師さんの説明はよく分かりやすかったです。
- ◆篠山に生まれ、15年前に戻った身ですが、初めて知ること、訪れた場所が多く、貴重な体験となりました。
- ◆盛りだくさんの内容で堪能しました。豊林寺と本明谷の鉱山探訪が印象的でした。
- ◆今回で3回目ですが篠山東部に来ることがあまりなくて訪れたところは初めてで、たくさん知れて良かったです。
- ◆普段何気なく通っている所にたくさんの人権史跡があることに驚き、良い勉強になりました。
- ◆本日はいい一日をありがとうございました。篠山の歴史が分かり、ますます感心することばかりで、もっと篠山を知りたく思いました。
- ◆現地で解説していただくとその時代ごとに生きておられた方の生活や思いが感じられました。人も自然も史跡も大切にしていきたいし、改めてふるさとの素晴らしいしさに触れて嬉しかなりました。いろいろと研究し伝えていただく方々のお陰です。



福住地区・禪昌寺にて

第21回丹波篠山市人権・同和教育研究大会に参加しましょう。

師走のひととき、みんなで住みよい人権のまちづくりについて考えてみませんか。

とき：12月7日（土）受付11:40～ ところ：四季の森生涯学習センター 開会行事 11:50 基調講演 13:10

お問い合わせ 丹波篠山市同教事務局 TEL 593-1260 ☆どなたでも参加できます。託児（要申込）・手話通訳・ノートテイク（口述筆記）あり

入場無料
当日参加OK!

専門部会研修会

***保・幼部会研修会**
10月21日(月)18:30~20:00
内容:「子どもをすぐ育てよう～悩む親へのアドバイス～」
講師:仲島 正教さん(教育サポーター)

***男女共生部会研修会**
11月11日(月)13:30~15:00
内容:「男女共同参画に敏感な視点をもってみませんか」
講師:勝木 洋子さん(神戸親和女子大学教授)

***学校部会研修会**

- ①8月29日(木)8:30~12:00
内容:「人権史跡フィールドワーク」
講師:酒井 雅子さん、井関 裕子さん(啓発推進委員)
畠 善継さん(市同教事務局)
- ②1月9日(木)15:00~16:30
内容:「道徳(学校教育全体)で実践する人権教育」
講師:春川 政信さん(三木市人権・同和教育協議会副会長)

***地域部会研修会**
2月予定
内容:「地域住民のコミュニケーション」
講師:未定

***企業部会研修会**
①12月上旬18:30~20:00
内容:「人権が尊重される働きやすい職場づくり」
講師:和田 章さん(日本ジャイアントイヤKK)

②3月上旬
内容:「丹波篠山の人権の歴史」
講師:今井 進さん(啓発推進委員)

***障がい者部会研修会**
①12月3日(火)・8日(日)チラシ配布啓発活動
場所:市内12カ所

***PTA部会研修会**
1月26日(日)13:30~15:00
内容:「SNSやインターネットによる人権侵害」
講師:竹内 義博さん(ソーシャルメディア研究会)

***宗教部会研修会**
2月上旬13:30~15:30
内容:「高齢者が元気に生きるために」
講師:関根 聰さん(大阪女学院大学)

***高齢者部会研修会**
市内各老人クラブ単位で実施

※参加ご希望の方は
丹波篠山市人権・同和教育研究協議会までお問い合わせください。

(上記研修会の内容は変更する場合があります。)

暮らしの中から

「子どもたちの居場所」

丹波篠山市西部の味間地域に市立丹南児童館がある。ふだんは市内の若い子を連れたお母さんが訪れたり、放課後には小・中学生が宿題をしたり遊んだりする。職員の方々ともおしゃべりしたり遊んだりして、子どもたちにとっては、楽しく安心できる場となっている。

今年も8月5日(月)から9日(金)まで『夏休み子ども教室』が実施された。近隣地域の小学生を対象に、子どもたち同士、地域の方との交流を通して仲間づくりを推進する。また、豊かな個性や自立心、温かい心などを育み、心身ともに健やかな児童を育てることをねらいとしている。今年は約30人の子どもたちが参加した。

私も学習の地域指導者、キッチンボランティアとして2日間参加した。毎日9時から10時までは「学習タイム」で、全員算数を中心とした夏休みの宿題や、自主学習に取り組んだ。私は1・2年生の学習をサポートした。そばに座っているだけで、子どもたちは真面目に一生懸命頑張る。途中で休憩を取ったが1・2年生にとっては長い時間、みんなと一緒に楽しんで学習できたことに感心した。

その後お昼まで、子どもたちは「よさこいソーラン」「将棋」「折り紙」「絵」「カゴ作り」「クッキング」の中から、自分で好きなものを選び参加した。

さらに今年から新しい試みとして、「TCキッチン」が加わった。「クッキング」を選んだ子どもたちが、ボランティアの指導を受けながら、参加している30人分の料理を作り、昼食として用意する活動である。難しいことは高学年、易しいことは低学年の子が受け持つて進めた。高学年の子が優しく教えていたり、有意味な活動をした後の食事は、参加したみんなにとっても嬉しいものだった。



私の孫も参加していたが、終わってからも友だちと夕方まで遊んでいた。幼い頃、川や空き地で村中の子どもたちと群れて遊んだ記憶がよみがえってきた。今思い出しても、心が温かくなる。子どもたちの心の中にも友だちと遊んだ記憶が、いっぱい残ればいいと思う。

2学期が始まれば、学校に行けない子が増えるという。どの子にも仲間や先生がいる、身近な大人が見守ってくれる、これからもそんな地域にしていきたいと願う。(西田 こず枝)

「隣人の心に寄り添うために」

私は、6年前に大腸がん手術で、肛門括約筋を切除しました。そのため、私の意志とは関係なく四六時中便が流れ出ています。肛門周りは常時ただれおり、それによる激痛に耐え切れず、「こんな辛い思いをするのだったら死んだ方がましや!」と絶叫し、半狂乱に陥ることも、たびたびです。

こんな私に「あんた、つらいやろな。あんたの痛みを少しでも癒すことが出来れば!」と優しく寄り添ってくれる妻に向かって、罵詈雑言をあびせることも、しばしばです。痛みが治まり落ち着きはじめると、妻に申し訳ないことをしてしまったと後悔することばかりです。

24時間便意をもよおし、外出する機会もほとんどなく、日常生活の活動が著しく制限されるため、障害者手帳を申請したのですが、56歳の大腸がん手術の際に、肛門括約筋が切除された(後天的)ということで、障害者手帳発行の認可対象外となりました。私は、現状の認可規定に対して納得できず、辛い気持ちで一杯になりました。

こんな私の苦しい胸の内を知人に打ち明けると、私の悩みに一生懸命に耳を傾け、私の辛い思いに精一杯寄り添ってくれました。その慈愛に満ちた人柄に触れた時、胸が熱くなり、心がほっこりしました。

そして、私は、これまで周りの方々の間々とした辛いお気持ちにどれだけ寄り添い「この時・この瞬間」と一緒に歩んで来たのか、62年間の人生を振りかえりました。本当に、恥ずかしいことばかりで、あらためて、妻に感謝するとともに、知人のように、すべての存在を癒す心を育むことが出来るよう努めたいと思いました。

様々な病や「しょうがい」で日常生活に制限を余儀なくされている方々が身の回りにたくさんおられます。その方々の消え入るような小さな声に耳を澄ませていくことで、日常生活の中で一人苦しみを抱えておられる方々が少しでも解放され、福祉施策の扉がわずかでも開かれることに繋がっていくと信じています。(森田 貞二)



編集後記

住民会費・企業会費のご納入 ありがとうございました

自治会をはじめ、市民や企業の皆様のご尽力により、9月末現在3,430,480円の会費をお納めいただいております。この貴重な会費は、私たち丹波篠山市で生活するすべての人たちが、互いの人権を尊重し、あたたかく優しい気持ちで暮らしていくための啓発・学習活動に使わせていただいております。今後とも、市同教事業にご理解、ご支援いただきますようお願い申しあげます。

